

平成 16 年度

第 12 号

SEUシニアクラブ会報

自 立
相互扶助
社会貢献

事務局:長野県諏訪市大和 3-3-5 セイコーエプソン労働組合内 TEL:0266-52-0714 Email:seu_scnt@moon.odn.ne.jp

第 3 回定期総会開催

社会貢献活動等の充実へ向けて役員全員再任

SEUシニアクラブ第3回総会は、約50名の会員出席のもとに10月14日(木)ゆうむ25において開催された。

当日は国会開催中の合間をぬって津田やたろう議員が出席され、参院選挙における会員各位のご協力に感謝するとともに、社会貢献等への当クラブのこれからの活動に期待する旨の丁寧なあいさつがありました。

議事に入り2004年度の経過報告・決算報告が承認されたのち、2005年度活動計画の審議に入り、以下の活動が承認されました。

1. 年金・医療制度・社会保障改革など生活に直結する諸政策の実現に向けた活動
2. 会員交流会・土曜さろん(月一回第4土曜日に開催)・IT活用普及講座・確定申告相談会などの開催
3. 定年後の自立に向けた「仕事紹介システム」の研究
4. 個人火災共済をベースとした相互扶助活動の推進
5. 福祉施設支援活動・上川アダプトプログラムへの参画等社会貢献活動の推進
6. 広報発行(月1回)・Webサイトの公開・地域連絡網整備など会員連携の充実

なお、これらの活動をおこなう推進組織として6つの専門部会を設置することが決められました。

2005年度予算は収入1,953,000円を見込み、事務費・会議費・人件費・事業費・共済事業費・通信費等に支出することが決まりました。

最後に役員改選がおこなわれ、現役員全員が再任されて新年度がスタートすることとなり閉会となりました。総会議案書はすでにお届けしてありますので、詳細は議案書をご覧ください。

【土曜さろんへのお誘い】

毎月第4土曜日13時から“ゆうむ25”にて開催

11月27日から平成17年3月26日までの間は次のメンバーが当番です。

テーマ・企画内容は都度お知らせしますので、多くの会員のご出席をお待ちしています。

実施日	話題・企画内容等	担 当 幹 事
11月27日(土)	我が家の家庭菜園を紹介します	千葉春男・平林健二・里見洋子
12月18日(土)		小松保美・河西邦夫・久保田永子
1月22日(土)	毎月の広報に掲載	横尾秀一・千葉春男・上原 恵
2月26日(土)		小口陸男・小松保美・河西邦夫
3月26日(土)		小口原弘・竹内太郎・内山まさ子

労働組合報告

一雨ごとに秋も深まってまいりましたがシニアクラブの皆様はいかがお過ごしでしょうか、この10月の定期大会をもってセイコーエプソン労働組合の執行委員長が交代しましたことをまずはご報告いたします。

新執行委員長 袖山和彦より

この秋より執行委員長を務めることになりました。溝口前委員長につきましては、5年間執行委員長を務め、この10月1日から本社の「人事総務部業務センター」へ職場復帰しました。非専従時代から合算して14年間組合に従事し、セイコー労組の再編、シニアクラブの設立に係りましたので、皆様にもいち早くお伝えする事項でしたが、ご報告が遅くなり大変申し訳ありませんでした。

私袖山は、1984年にセイコーエプソン(株)へ入社。当時の岡谷事業所でミニプリンタの生産技術を担当し、1995年から組合役員、2002年から組合専従を務めております。今年40歳の若輩ですが、私の世代が団塊の世代に次いでピークとなっており、明日を担う者の代表として頑張ります。

新年度の課題

広丘事業所内に新しく完成品商品の開発棟の着工が12月より新に始ります。完成後は、本社等から商品開発に係わるメンバーが異動します。また、新会社「三洋エプソンイメージングデバイス」も10月に発足しました。このような環境変化に対応していくためにも、全ての取組みに対して、執行部と組合員の相互信頼を高めることを意識し、今まで以上に一体となった強い組織を作り、将来に繋がる人材を育てていきたいと思っています。

シニアクラブへの期待

シニアクラブの理念(自立・相互扶助・社会貢献)は、まさに今現役が迷っている労働運動の原点だと感じます。現役組織を固めていくためにも、皆さんの取組みを範として参りたいと思っていますので、ご活躍に大いに期待します。また、社会に対する取組みについては、ここ数年労使で行うことが定着してまいりましたが、今後はシニアクラブとも連携し、より大きな輪にして参りたいと思いますので、よろしく願います。

上川アダプトプログラム清掃作業おこなわれる

諏訪地区退職者連合の会が主催する「上川アダプトプログラム」第2回清掃活動が11月13日に実施され、諏訪湖河口から小松家具までの区間1.2kmを担当しました。

当日はこの秋一番の冷え込みで北風の強い朝でしたが、16名の会員が参加して心地よい汗を流しました。

今回は下草も刈られていたため、スムーズに進み、開始から1時間で全ての作業を終了し、10時に解散となりました。回収量は、空き缶2袋・燃えるごみ2袋・燃えないごみ2袋分の大収穫でした。



「年会費1,000円の納入のお願い」

11月10日現在、年会費未納の皆さんへ郵便振込用紙を同封いたしました。

11月末日までに納入していただきたく願います。既納の方に入っていたらご免なさい。

かゆいところに手が届く！ 「孫の手パソコン教室」開設

12 月度講座の受講生募集！

SEU シニアクラブでは、「NPO 法人スマートレイク」様のご支援を得て、パソコン教室を常設する運びとなりました。

パソコンを使うことに躊躇している！

パソコンを使ってみたが途中で挫折してしまった！

自分にあったパソコン教室が見当たらず悩んでいる！

「孫の手パソコン講座」はそんな方に満足していただけるサービスを提供します。
各講座とも「お互いに学びあう」ことを基本に運営し、判らないところを常駐スタッフがサポートする方式を取り、個人の技量に合わせて勉強をします。ぜひ気軽に参加して、パソコンの面白みを体験してみてください。

- 初年度は下記のような講座を計画しています。

講座名	内容	実施日	12 月講座日程
はじめの一步 パソコン入門	キーボード、マウス、Windows 画面の操作など初めてパソコンに触れる方を対象にした入門編	隔週月曜日 第 1・4 週	12/6 12/20
インターネット入門	メール、Web 検索など	隔週火曜日 第 2・4 週	12/14
パソコンサロン	ワープロ、表計算ソフトなどの利用 個人のレベルに応じてカリキュラムを設定	毎週金曜日	12/3 12/10 2/17 (年賀状作成も可)
ミニ講座	年賀状、日記帳、確定申告、住所録、 デジカメなど 1 日マスター講座	都度案内	年賀状作成 *注 12/1 12/15
ホームページ作成	年 2 回 6 日間コースを予定	2 月開講予定	別途ご案内をします

* 注：年賀状を印刷する方は別途インク代実費

【講座開催要領】

- 1、会 場：NPO 法人スマートレイク事務所
諏訪市清水 2-1-21 (株)高島産業構内
- 2、時 間：13:00～16:00 の時間帯で参加は随時
- 3、講師陣：SEU シニアクラブ会員 スマートレイクスタッフ
- 3、参加費：一人 1 日 500 円 (会場費・お茶代) 受講者負担

駐車場利用について
線路下の「日赤血液センター」横の駐車場を利用してください

講座内容によってはテキスト代、材料費など実費が必要な場合があります。

- 4、申込み：初回参加の時は電話で申し込んでください。

申込み・問い合わせ先 SEU シニアクラブ PC 担当：山田勝俊へ 090-8949-5155

- 5、参加資格：SEU シニアクラブ会員および会員同伴の家族、友人

【NPO 法人スマートレイクの紹介】

平成 13 年に設立された「特定非営利活動法人」で、市民・企業人・行政・学者・研究者が相集い、市民主導型のマルチメディアを利用したまち創りを推進しする団体です。

具体的な活動としては 地地域コミュニティ支援、パソコン利用のための支援、地方自治体への提言、学校 PC 教育支援、地域 IT サポートなどの事業に取り組んでいます。セイコーエプソンも賛助企業会員として活動を支援しています。

『ロサンゼルス便り（８）』

—— 観光スポット（２） 近 郊 の 風 力 発 電 所 』

クリーン・エネルギーの一つとして今、風力発電が注目されています。ここカリフォルニア州は、最も風力発電に力をいれている地域であり、州全体として現在 15,000 個以上のタービン（風車）が稼働し、全世界の風力発電量の 70 % 以上を生産しているといわれています。

ロサンゼルスから、東へ向かい、パーム・スプリングス近くを通ると道路の両側に巨大な風車群が見えます。これがウインド・ファーム（風力発電用の施設）です。

太平洋から流れ込んでくる風は砂漠で熱せられて上昇気流となり、山を越えてパーム・スプリングスへと流れ込みます。そしてサン・ゴルゴニオ・パス（San Geronio Pass）と呼ばれる強力な風の通り道である“切り通し”に沿って風車が設置されています。

各風車には発電機（ウインド・タービン）が設置されていますが、それらはドイツ、デンマーク、日本製などの機械であり、こんなところにも日本の技術が活躍しています。

この風車に設置されている発電機による総発電量は年間 9 億 kwh とのことで、パームスプリングス市の電力の 30 % がこの風力発電により賄われているとのこと。

風力発電の大きな問題点はコストがかかる事です、急速な技術の進歩によりウインド・タービンの改良がなされ、次第にコスト競争力がついてきました。しかし、風力発電設備の場合、コスト競争力の他、次のような立地条件を必要とし、普及を困難にしているようです。

- （１）一年中安定的に強い風が吹く広大な土地を確保出来ること。
- （２）発電した電気を使用する需要地が近くにあること。
- （３）風車から発する騒音が障害とならないように住宅地から離れていること。
- （４）航空信号所や電波信号所が近接していないこと。
- （５）渡り鳥などの飛行経路でないこと。

さらに風力発電設備のもうひとつの泣きどころは、その稼働率の低さであり、カリフォルニア州の場合、最高でまだ 20 % 程度だそうです。また、季節によって風速がかなり異なることから、1 年を通じて稼働率にかなりのばらつきがあり、だ本格的に普及するには時間がかかりそうです。

写真を添付いたしますのでご覧ください。

河合 将介（ skawai@earthlink.net ）

